

えほん 障害者権利条約

ふじいかつりの著(汐文社・1620円)

障害のある人に対する差別をなくし、障害のない人と同じ権利を原則として保障する国連「障害者権利条約」。日本政府が昨年1月に批准したこの条約に、子供も大人も親しんでもらおうと作られた。条約の誕生から目指す社会までを、素朴で骨太なタッチの版画で生き生きと描く。

共生社会のシンボルマーク「イエ

街の絵巻が飛び出すように広がる。

日本の批准は国連加盟国193カ

国中141番目だが、「条約を受け

入れる前にまず国内法の整備を」と

多くの障害者が訴えて実現した。

△「わたしたちぬきに、わたしたち

のことを決めないで」。障害のある

人たちが立ちあがり、ボクが働きや

すいように準備をしてくれた▽

著者は全盲で養護学校(現特別支

援学校)元教員、版画の里圭(ま)さんは

障害者施設職員。

(野)

ローリボン」を頭にあしらう、条約を擬人化した青年の「ボク」が主人公。ボクは思い浮かべる。△条約がきちんと守られたらどうなるのだろう?▽。車いすの女性がパソコンに向かうオフィス。手話による授業や学校のブラインドサッカー……。ハインディのある人となない人が溶け込む、△だれにとっても住みやすい▽